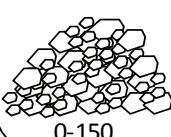
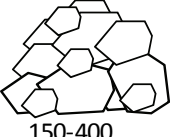


整理 No.	13	分類	コンクリートがれき									
会 社 名	清水建設株式会社											
担 当 者	東北支店土木技術部 近藤克巳											
連 絡 先	TEL	022-267-9177	FAX	022-213-0413								
	E-mail	ktm_kondo@shimz.co.jp										
技術の名称	ガラリクリート工法											
概 要 (150 字程度)	コンクリートがれきを最大粒径 400mm 以下に粒度調整し、その粒度分布や設計基準強度を考慮して配合したモルタルと混合して、振動ローラーで振動・転圧することにより、コンクリート構造物を構築する。											
技術登録等	なし											
技術の概要	1. 基本的な考え方 コンクリートがれきを破碎し、最大粒径 400mm 以下に粒度調整したコンクリートがら（解体骨材）を、その粒度分布や設計基準強度を考慮して配合したモルタルと混合し、振動ローラーで振動・転圧してコンクリート構造物を構築する。 2. 対象とする災害廃棄物 不純物や鉄筋等が混入していないコンクリートがれき 3. 技術の概要 3.1 使用材料 ガラリクリート 解体骨材 解体ガラ 最大粒径400mm 粒度調整 + モルタル 解体骨材(分級)  0-150  150-400 3.2 使用機械 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>使用機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒度調整</td> <td>バックホウ（スケルトンバケット） コンクリート圧砕機、破碎機</td> </tr> <tr> <td>練混ぜ、敷均し</td> <td>バックホウ</td> </tr> <tr> <td>振動転圧</td> <td>振動ローラー</td> </tr> </tbody> </table>				工種	使用機械	粒度調整	バックホウ（スケルトンバケット） コンクリート圧砕機、破碎機	練混ぜ、敷均し	バックホウ	振動転圧	振動ローラー
工種	使用機械											
粒度調整	バックホウ（スケルトンバケット） コンクリート圧砕機、破碎機											
練混ぜ、敷均し	バックホウ											
振動転圧	振動ローラー											

次頁

あり・なし

技術の概要 (つづき)	3.3 処理方法 解体骨材の粒度確認、粒度調整 ※微粒分: 粒径5mm未満 ■微粒分有り プレミックス工法 【攪拌槽】 モルタル・解体骨材投入 ↓ バックホウ等で練混ぜ 【施工場所】 運搬、敷均し ↓ 振動・転圧 ■微粒分無し ポストパacked工法 【施工場所】 モルタル投入 ↓ 解体骨材投入 ↓ 敷均し ↓ 振動・転圧 ・コンクリートガラを破碎し、粒度 150～400mm、150mm 以下に分級し混合比率を調整する。 ・使用するモルタルの配合は解体骨材の粒度分布や設計基準強度を考慮して決定する。 ・施工は、解体骨材の微粒分（粒径 5mm 未満）の有無により、プレミックス工法またはポストパacked工法を選択する。 4．本技術を活用し、得られた目的物の性状等 圧縮強度 10～20N/mm² 5．利用先・用途（実績等） 実績：九州農政局 浜ノ瀬ダム 場内放流設備下部置換コンクリート 1100m³ 用途：置換コンクリート（マンメイドロック）、中埋コンクリート、重力式擁壁（耐凍害性を考慮しなくてよい場合）、地盤のかさ上げ 等 6．特許・技術審査証明・NETIS 登録状況等 なし 7．コスト がれきの解体、がら分級・混合、がら・モルタル混合、運搬・敷均し・締固めなど 18,000～20,000 円/m³ 程度（材工）
------------------------	--